

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0550
施設名	旭保育園
施設所在地	板橋区大山金井町56-1
法人名	社会福祉法人昭和会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ボルダリング

<テーマの設定理由>

運動と思考を同時に鍛えることの探究活動として、以前より導入したかったボルダリングを選びました。楽しみながら体力、集中力、課題解決能力等の向上をねらいます。

2. 活動スケジュール

令和6年12月から令和7年3月まで
毎週水曜日の体操指導中 4・5才児クラス
または普段の保育活動中 2～5才児クラス

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園舎多目的ホールにボルダリングの壁を作りました。
専門の業者に難易度別に3つのルート設定をしてもらい、それぞれのルートに色分けしたホールドをつけてもらいました。
使用時は下にマットをひきます。
壁が真っ直ぐではなくカーブしているので形状の面白さもあります。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

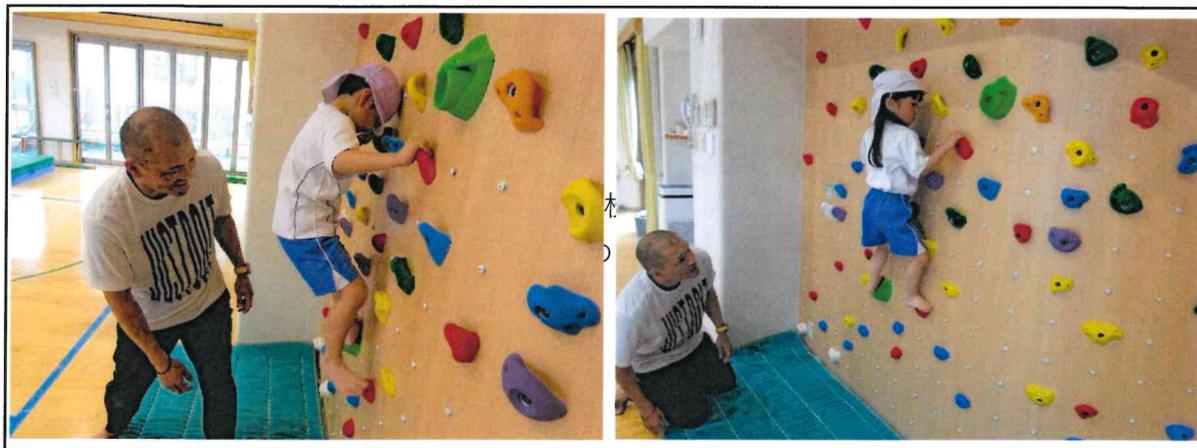
4・5才児クラスの体操指導中には、外部講師からボルダリングの基本的な動きを教えてもらい、まずはルート等考えずに取り付いてみることから始めました。徐々にルートの制限をしたり障害物を設定したりと難易度を上げていきます。
また、上から飛び降りない、マットの上はボルダリングをしている子だけしか乗らない、といった安全に使用する上でのルールも教えています。
2・3才児クラスは普段の保育活動で取入れており、体力作りに貢献しています。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

4・5才児クラスではすぐに登れるようになる子が多く、とても驚きました。園児どうしではガンバレ等お互いに励ましの声掛けする姿も見ることが出来ました。

2・3才児クラスは普段の保育活動で保育士がボルダリングを促すと、興味を持って登る子が多かったようです。横への移動は難しいようですが、上への移動は2才児クラスから出来ています。

1才児クラスでは特に保育士からの促しはしませんが、数人自ら壁にしがみつくと園児の姿を見る事が出来ました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

5才児クラスではすでにルートを意識している園児もあり、使うホールドの色を自分で決めて1つ1つ考えながら進めていました。ボルダリングをしている時の園児は真剣そのもの。次はどの手足をどう動かすか、自分の技量と相談しながら一生懸命イメージ通りに動けるよう取り組む姿を見る事が出来ました。